

# 「文化・生涯学習振興」及び「少子化対策」に関するアンケート実施報告

実施所属:環境生活部文化振興課  
子ども・福祉部少子化対策課

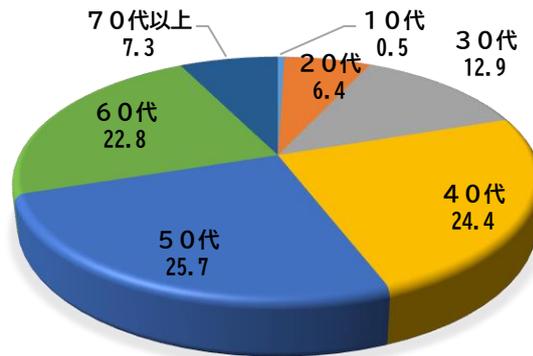
## アンケート概要

- (1) 実施期間 令和4年7月6日(水)から令和4年7月25日(月)
- (2) 対象者数 1,386名
- (3) 回答者数 944名
- (4) 回答率 68.1%
- (5) 回答者属性(※グラフの単位はすべて%)

※割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

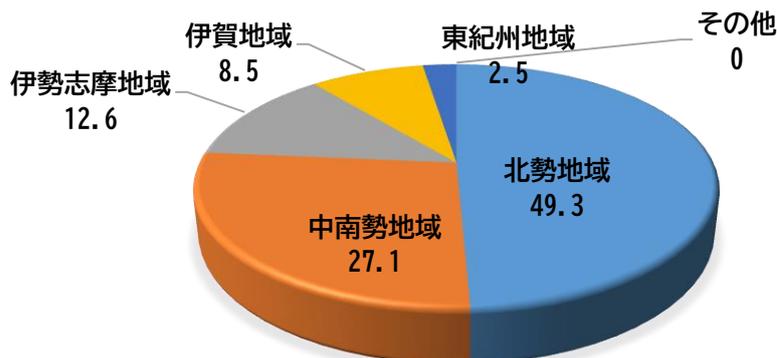
## 【年代別】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
回答者数(人)	5	60	122	230	243	215	69	944
割合(%)	0.5	6.4	12.9	24.4	25.7	22.8	7.3	100



## 【地域別】

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	計
人数(人)	465	256	119	80	24	944
割合(%)	49.3	27.1	12.6	8.5	2.5	100



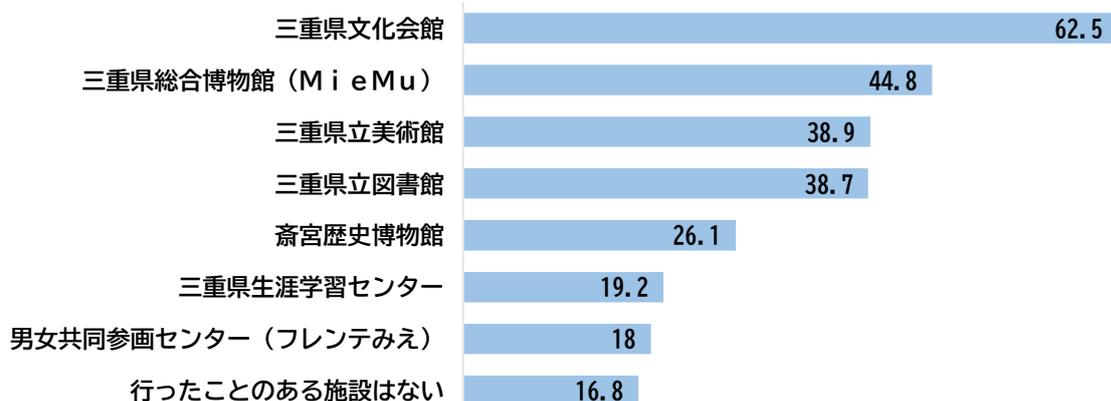
## アンケート結果

●Q1～Q8 ※グラフの単位はすべて%

環境生活部文化振興課

### Q1 これまで行ったことのある県立文化施設について

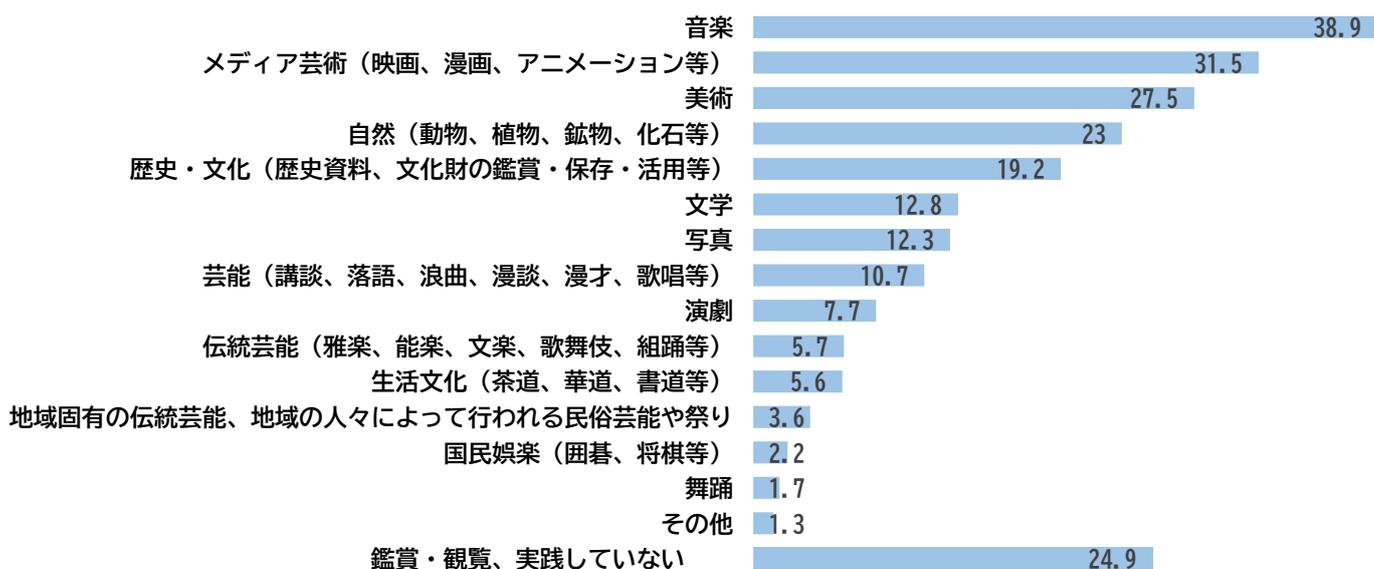
あなたは、県立文化施設である次の施設を訪れたことがありますか。（施設外で実施される出前講座等への参加を含みます。）訪れたことがあるものをすべて選んでください。



県立文化施設に行ったことがあるとの回答は、約8割となりました。個別にみると、「三重県文化会館」(62.5%)が他の県立文化施設と比べて特になくなりました。これは、同館では他館と比較するとコンサートや演劇をはじめとして、さまざまな公演やイベントが行われているためではないかと思われます。

### Q2 鑑賞・観覧もしくは自ら実践した文化芸術のジャンルについて

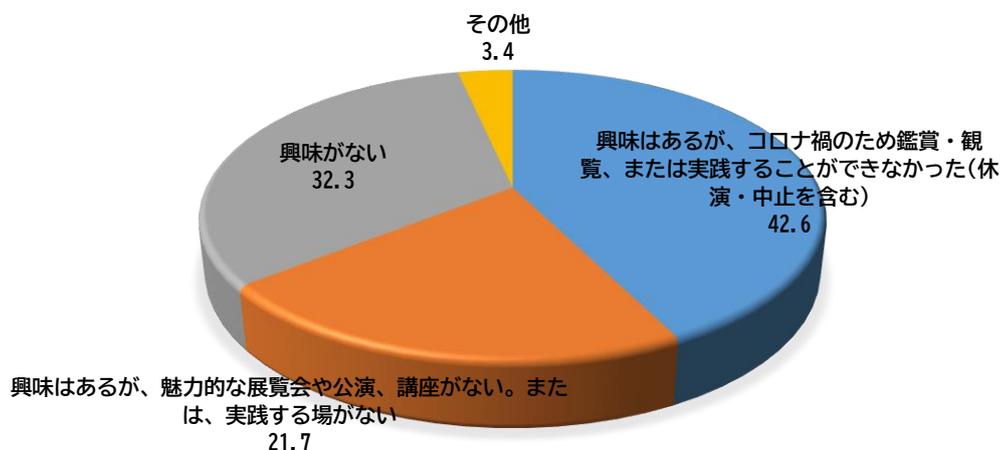
あなたが最近、鑑賞・観覧したり、自ら実践した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



「音楽」(38.9%)、「メディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）」(31.5%)、「美術」(27.5%)の順となりました。一方で、「鑑賞・観覧、実践していない」も24.9%ありました。

### Q3 鑑賞・観覧もしくは自ら実践した文化芸術のジャンルについて

Q2で「鑑賞・観覧、実践していない」と回答された方に質問します。その理由は何ですか？ あてはまるものを1つ選んでください。



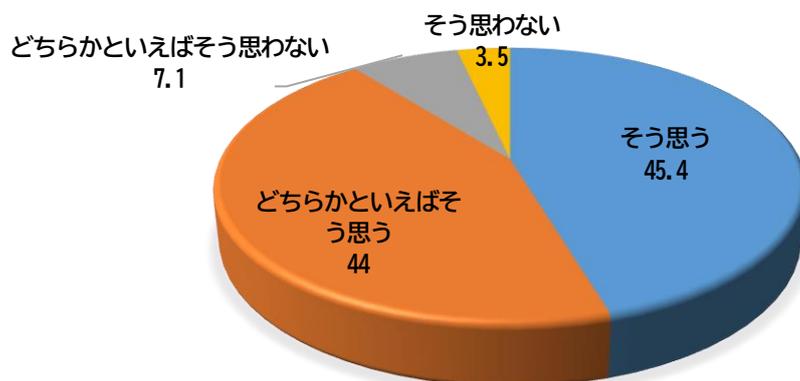
「興味はあるがコロナ禍のため鑑賞・観覧等できなかった」(42.6%)との回答が最も多く、新型コロナウイルス感染症の影響が表れた結果となりました。

なお、その他の主な内容は次のとおりでした。

- ・仕事が忙しすぎる
- ・興味がない訳ではないが、特に関心のあるものが無かった

### Q4 三重県に対する誇りや愛着について

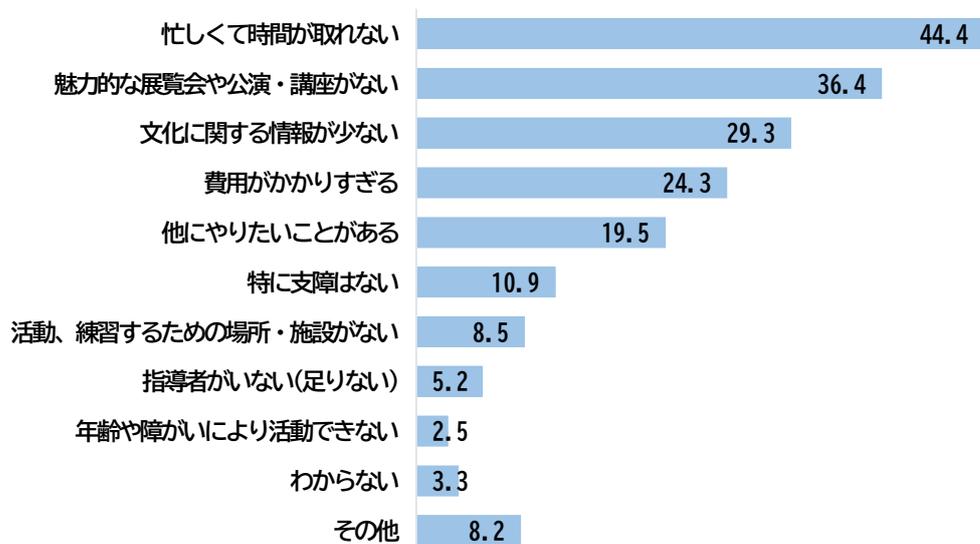
あなたは、三重県にある全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等について、愛着を感じることができると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が89.4%あり、昨年度(90.1%)から微減しましたが、9割近くの方が三重県に誇りや愛着を感じているという回答になりました。

### Q5 文化芸術活動への支障について

文化芸術を鑑賞・観覧、もしくは実践するうえで支障となっていることは何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。



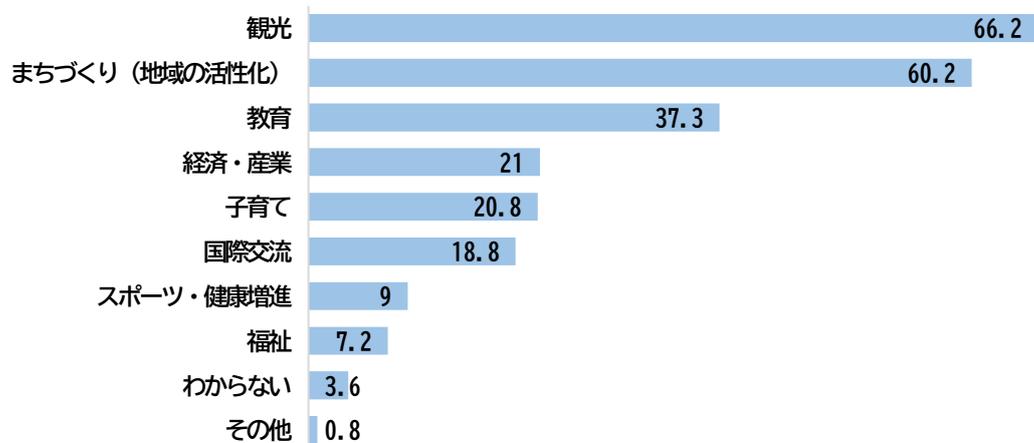
「忙しくて時間が取れない」(44.4%)が最も多く、次に「魅力的な展覧会や公演・講座がない」(36.4%)、「文化に関する情報が少ない」(29.3%)の順となりました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・小さい子どもがいる
- ・会場等が近くになく、手軽に観覧等ができない

### Q6 文化芸術を活かしたら良いと思う分野について

あなたは、文化芸術をどのような分野に活かしたら良いと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。



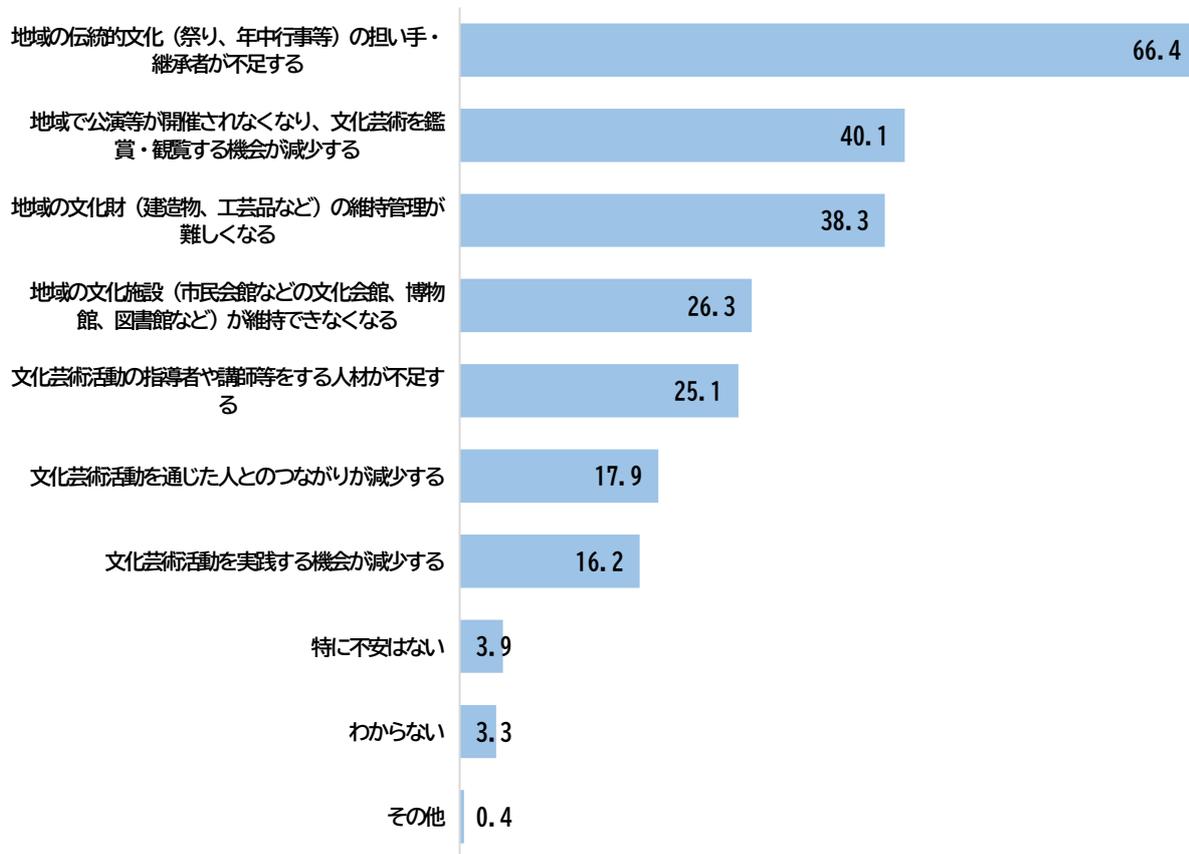
「観光」(66.2%)が最も多く、次に「まちづくり(地域の活性化)」(60.2%)、「教育」(37.3%)の順となりました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・生きがい、楽しみのためにあるべきだと思う。

## Q7 人口減少等の進行による地域の文化芸術等への影響について

人口減少や過疎化が進む中で生じる地域の文化芸術への影響等について、あなたが不安に感じることは何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。



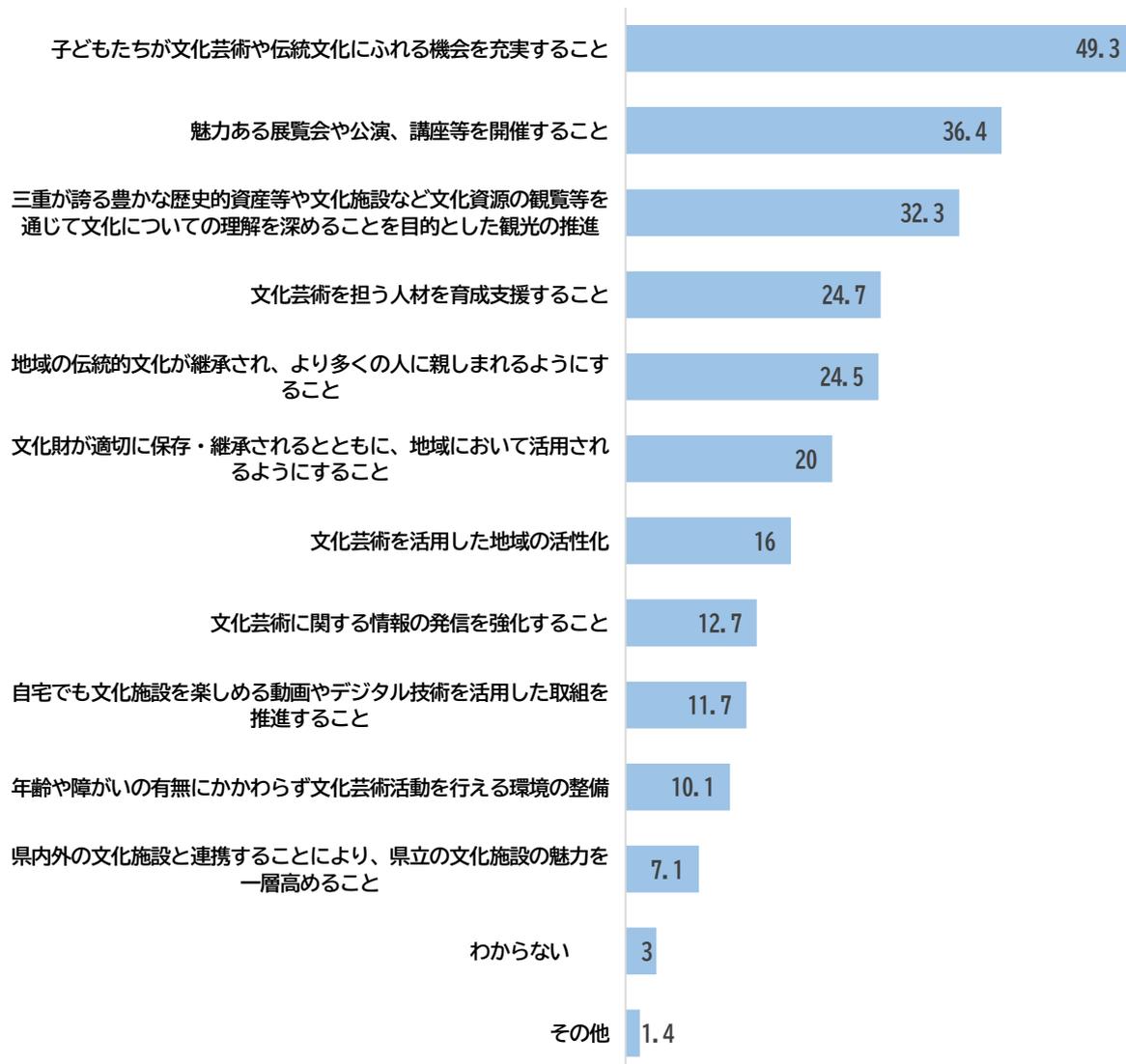
「地域の伝統的文化（祭り、年中行事等）の担い手・継承者が不足する」（66.4%）が最も多く、次に「地域で公演等が開催されなくなり、文化芸術を鑑賞・観覧する機会が減少する」（40.1%）の順となりました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・既に地域行事が維持できていない。

## Q8 アフターコロナを見据え、今後県が力を入れるべき文化施策について

アフターコロナを見据え、あなたは、県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。



「子どもたちが文化芸術や伝統文化にふれる機会を充実すること」(49.3%)が最も多く、次に「魅力ある展覧会や公演、講座等を開催する」(36.4%)の順となりました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

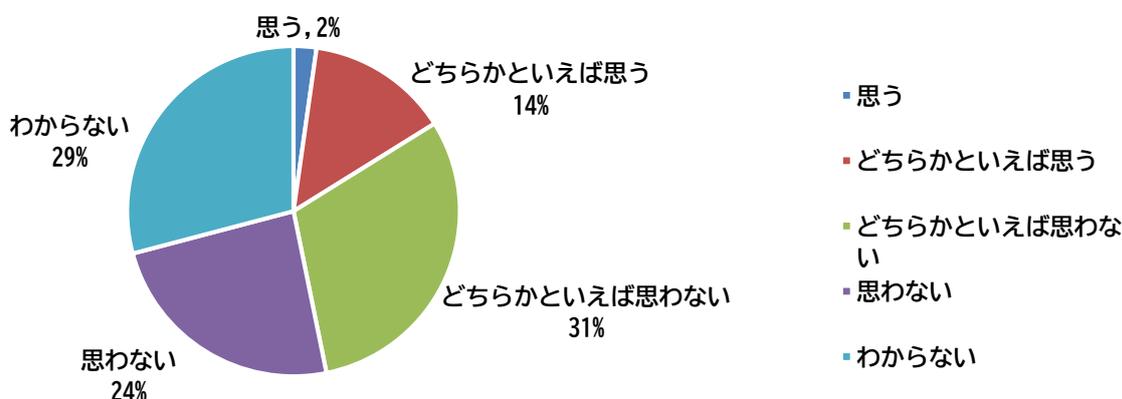
- ・商業と絡めて中長期的に継続可能な体制を築くこと
- ・コロナの対策を第一に考える

**Q9 少子化対策の取組の効果や成果について**

県では、「第二期 希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に基づき、さまざまな少子化対策の取組を進めていますが、あなたは地域社会においてその効果や成果が現れてきていると思いますか。

「どちらかといえば思わない」、「思わない」と回答した方が55%と、「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方の16%を大きく上回っており、県民が取組の効果や成果を実感できるよう、引き続き少子化対策を進めていきます。(図9)

【図9】 少子化対策の取組の効果・成果が現れてきているか



**Q10 結婚について**

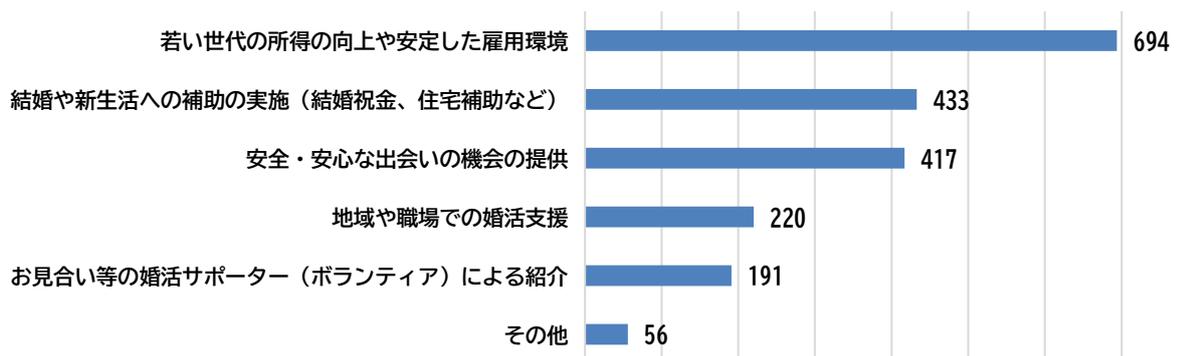
県内でも未婚化・晩婚化が進んでいます。

結婚に対してポジティブな気持ちを持ってもらうことの後押しとして、どんな取組が有効だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

「若い世代の所得の向上や安定した雇用環境」を選んだ方が最も多く、次いで「結婚や新生活への補助の実施（結婚祝金、住宅補助など）」が多くなり、結婚にあたっては、経済的な安定が重要であることがわかりました。

また、安全・安心な出会いの機会の提供についても多くのニーズが見られることから、結婚を希望する方のニーズに応じた支援の実施を進める必要があります。(図10)

【図10】 結婚への後押しとして有効な取組

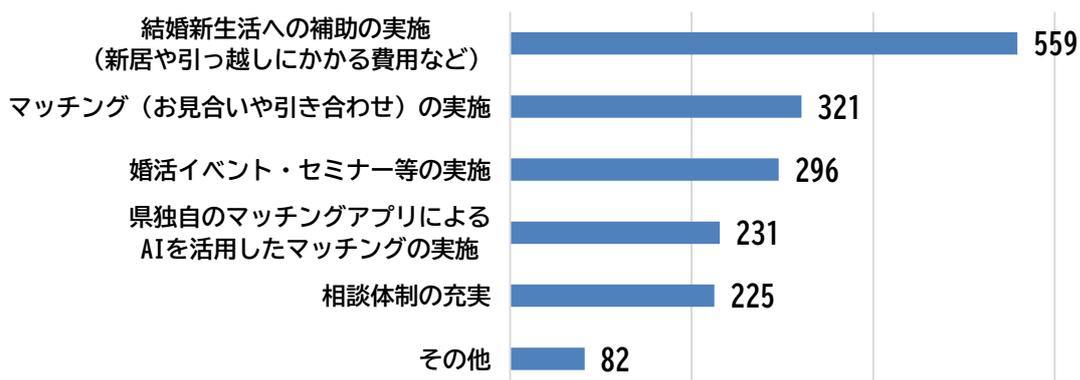


### Q11 結婚支援の取組について

県が結婚の支援を行うにあたり、重要だと思うことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

県が実施する結婚支援の取組として、「結婚新生活の補助の実施（新居や引っ越しにかかる費用など）」が重要であると答えた方が 559 人と最も多く、次いで「マッチング（お見合いや引き合わせ）の実施」と答えた方が 321 人と多くなりました。（図 11）引き続き、結婚を希望する方のニーズに応じた取組を進める必要があります。

【図11】 結婚支援の取組について



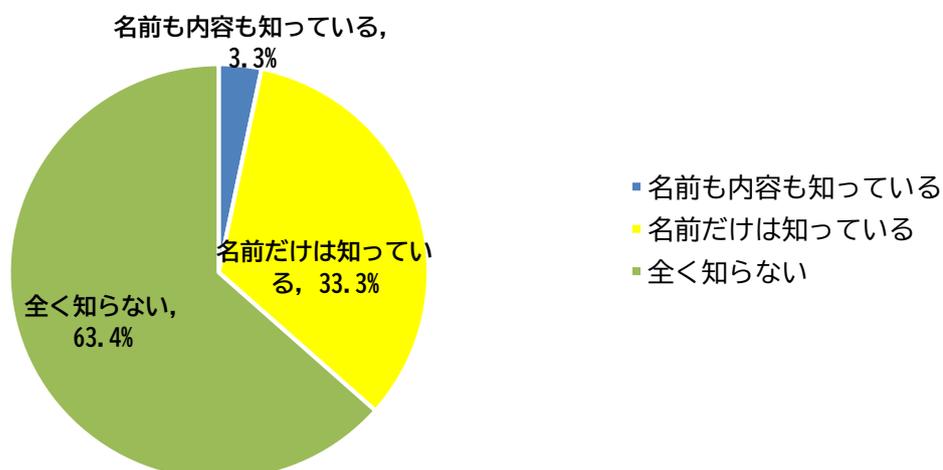
### Q12 三重県子ども条例の認知度について

県では、「子どもが豊かに育つことができる地域社会」の実現をめざし、「三重県子ども条例」を平成 23 年に定めています。

あなたは、「三重県子ども条例」のことを知っていますか。

子ども条例について、36.6%の方が「名前も内容も知っている」、「名前だけは知っている」と回答した一方で、63.4%の方が「全く知らない」と回答しており、引き続き、子ども条例について皆さんに知っていただく取組が必要です。（図 12）

【図 12】 子ども条例の認知度について



### Q13 三重県子ども条例を知ったきっかけについて

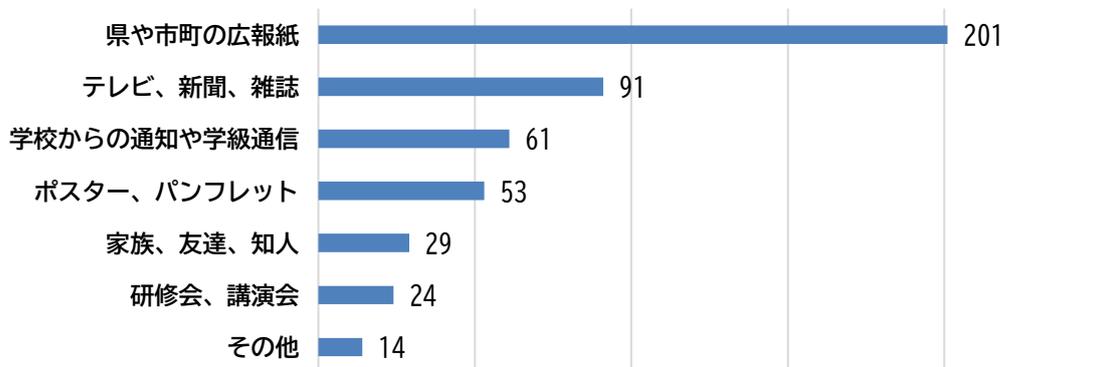
Q12で「名前も内容も知っている」「名前だけは知っている」とお答えいただいた方にお聞きします。

あなたが「三重県子ども条例」を知ったきっかけは何ですか。  
あてはまるものをすべて選んでください。

子ども条例を知ったきっかけは、「県や市町の広報紙」が201人と最も多くなっています。(図13)

引き続き、多くの皆さんに子ども条例を知っていただくよう、より有効な情報発信を図る必要があります。

【図13】 子ども条例を知ったきっかけ



### Q14 子どもの意見を聞く機会について

子どもに関する施策について、子どもの意見を聞く機会を確保するために効果的だと思う取組を自由にご記入ください。

(参考) これまで次の取組などを実施してきました。

- ・キッズモニター（子どもによるe-モニター）
- ・子ども会議（子どもによる子どもの権利に関する議論の場）

さまざまな観点から多くのご意見やご提案をいただきました。

#### 主な意見

##### ①子どもが意見表明する場の設定

- ・子ども会議（Web会議も活用）
- ・学校の授業の一環としての討論会や意見交換会
- ・他校の生徒との交流会、意見交換会
- ・地域の自治会や子ども会での意見交換会
- ・県や市町の首長や議員との交流会、意見交換会
- ・子ども議会

##### ②子どもの意見収集の方法

- ・キッズモニターアンケート
- ・学校でのアンケート（タブレットも活用）

- ・学校へ出向いて直接、子どもとの意見交換や聞き取り
- ・学校や公共施設への意見提案箱の設置
- ・子どもが集まる場所やイベントに出向いて、聞き取りやアンケート
- ・普段から子どもの声を聞いている大人（保護者、教員、学童の支援員など）から聞き取り
- ・SNSを活用した意見募集

### Q15 みえこどもの城について

県では、児童に健全な遊び、体験及び交流の場を提供してその健康を増進し情操を豊かにするとともに、地域の児童館の拠点となる施設として、「三重県立みえこどもの城」（松阪市立野町 1291 松阪市中部台運動公園内）を設置しています。

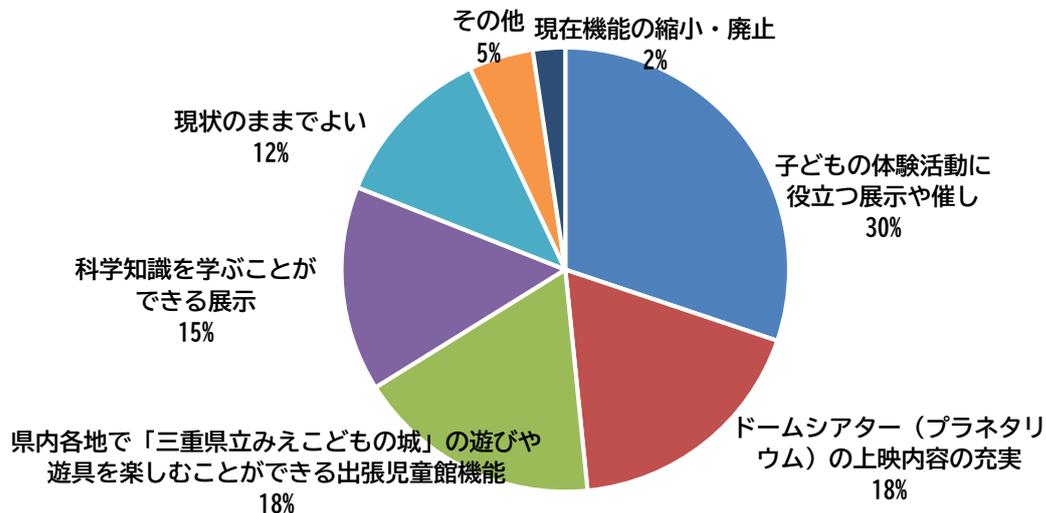
あなたは「三重県立みえこどもの城」にどのような機能があると良いと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

<参考> 三重県立みえこどもの城 (<https://www.mie-cc.or.jp/map/>)

「子どもの体験活動に役立つ展示や催し」が30%と最も高く、「ドームシアター（プラネタリウム）上映内容の充実」と「県内各地でみえこどもの城の遊びや遊具を楽しむことができる出張児童館機能」が18%となっています。（図15）

引き続き、ニーズに応じてこどもの城の活用を図り、子どもの豊かな育ちにつながるよう取組を進めていく必要があります。

【図15】みえこどもの城の機能について



## Q16 少子化対策について

あなたが、少子化対策として効果的だと思うこと、子どもが豊かに育つために大切だと思うことをご自由にご記入ください。

さまざまな観点から多くのご意見やご提案をいただきました。

### 主な意見

#### ①子どもや子育て世帯等に対する経済的支援の充実

- ・教育費用(特に高等教育にかかる費用)や18歳までの医療費の無償化
- ・子育て世帯の税負担の軽減、家計への補助の実施
- ・所得制限のない児童手当の支給、0歳児からの保育無償化
- ・不妊治療費の軽減・妊活への補助の実施
- ・おむつ・ミルクなどの育児必需品等の支給 など

#### ②子育てと仕事の両立を図るための環境の整備

- ・待機児童の解消
- ・学童保育の充実
- ・病児保育・延長保育・休日保育の充実
- ・保育士の質の向上、保育士の待遇の改善
- ・子育て中の女性の職場復帰や再就職の支援
- ・女性の家事・育児に関する負担の軽減
- ・男性の家事・育児参画の促進
- ・多様な働き方の推進
- ・男性・非正規雇用者・自営業者なども育児休業を取得しやすい制度整備と利用促進
- ・仕事と子育ての両立等を含めたライフプラン教育の実施・充実 など

#### ③楽しく子育てができるまちづくり、子どもが豊かに育つ地域づくりの推進

- ・公園や遊び場、道路、公共交通機関などの整備
- ・三重県の自然環境を活かした子育て環境の整備や体験プログラムの充実
- ・子どもが安心して暮らせる環境(公園・道路・施設)の整備
- ・子育て世代をはじめいろいろな世代が交流・相談できる機会や場の提供
- ・地域社会での見守り環境の整備、子ども・子育てに温かい社会を醸成する
- ・少人数教育や特色ある教育プログラムの実施など教育の充実 など

#### ④結婚支援の充実

- ・出会いの場を増やす
- ・非正規労働者の労働条件の改善
- ・若者の安定的な収入の確保
- ・お見合いなど、自治体の実施するマッチング
- ・結婚や子育てに前向きになるような若い世代への働きかけの実施 など

#### ⑤情報発信の強化

- ・行政が実施している子育て支援や結婚支援に関する積極的な情報発信
- ・子どもが将来県外に流出しないように、子どもに対する三重県の魅力発信
- ・移住者を呼び込むため、結婚・子育てしやすいまちとしての情報発信 など

#### ⑥その他

- ・若者が三重県に住み、結婚・子育てができるよう、働く場所の確保
- ・若者に対してのライフプラン・ライフデザイン教育の実施
- ・高等教育機関の充実や少人数教育の実施など教育の充実 など